

絶版車を買うなら今だ!!

モト・メンテナンス 8月号増刊
第6巻 第7号 2013年7月18日発売

「絶版バイクス14」

Zeppan

B I K E S

14
Volume



冒頭特集「絶版車を買おう!!」
**2st空冷250cc
が欲しい!!**

Zeppan HERITAGE
絶版車文化遺産

bimota SB.KB.HB/
SUZUKI RE5/
HONDA CBX/
YAMAHA pocke 他

Zeppan Before 60S Special
**KAWASAKI W1-SA
TT Custom 1971**



巻末特集:いま買える全国の
絶版バイク情報!

今・時・Z

Part2

巻頭特集
Remember Zeppan BIKES

最後のチャンス!! 購入するなら今!!



■クラブミーティング2013/絶版☆原2ツーリング/絶版車とメンテナンス工具

バイクブロスWEBはこちら

🔍 バイクブロス | 検索
ポチッ



店内には1970年代風にモディファイされたカスタムマシンと数多くの部品が陳列されている。メンテナンスや補修用の部品を求めるユーザーにも、カスタム好きなユーザーにも見応えのある店内である。



大切な愛車のコンディションをキープするための
絶版車用補修&カスタム部品が大好評。

BRC RACING PARTS

ビーアールシー <http://www.brcinc.co.jp>

〒770-0861 徳島県徳島市住吉5丁目8-31

Phone 088-622-0003 営業時間 10:00~19:00 定休日 日曜日 / 第2・第4土曜日

は純正品が不可欠であることに着目。
BRCが注目したのはまさにこの部分だ。代表の渡辺美視さんは1970年代終盤から1980年代終盤を東京のバイク店に勤務し、空前絶後のバイクブームをリアルに体験してきた。絶え間なく登場するニューモデルが飛ぶように売れた中、販売された車両のメンテや修理に

20年、30年が経過しているそれらのパーツに新車当時の性能を期待する方が間違っている。バイクは金属、樹脂、ゴムなど様々な素材を用いた部品の集合体であり、必要な時に必要な手当てを行うことで性能が維持できるのである。

明石海峡大橋と神戸鳴門自動車道を乗り継げば、大阪中心部からでも2時間弱で到着できる徳島県徳島市。ここで純正部品やカスタムパーツなど、主に400ccクラスの絶版車向け部品の販売を行っているのがBRCである。



BRC代表取締役の渡辺美視さん。カフェレーサーを愛し、部品の重要性に注目することで絶版車ユーザーから注目される存在に。2013年9月8日、今回で3回目となる「2013西日本ヨソフォアミーティング」を淡路島で開催する。

Zeppan SPL Shops

故郷である徳島に戻り平成3年、BRCを開業した際には車両販売と部品販売を半々の割合でスタートした。そもそもバイクいじりに興味があり、常にサービスマニュアルとパーツリストを手元に備えているユーザーならパーツナンバーから部品を注文できるだろうが、パーツリストを持っていないかったり近所に部品を注文できるショップがないユーザーも多く、そこに注目して特化する。ここでユーザー層に重宝される存在へと成長していった。開業当初は雑誌広告によるFAX注文が大半だったが、インターネットを利用するユーザーが増えるにしたがってホームページにも力を入れて、今では車種ごとの検索も容易で見やすく買やすい環境が整備されている。

BRCが販売している部品にはメーカー純正パーツ、リプロパーツ、カスタム用のスペシャルパーツという3本の柱がある。オイルフィルターやエアエレメントなどの消耗品、見た目を左右するボルトナット類、ハンドルスイッチやメーターなど、メーカーからの供給が途絶えた絶版部品の販売も積極的に行う。それらは絶版車を快調に乗り続けるため、また美しさを維持するために重要な部品ばかりであり、同社から購入した商品を愛車に活用する絶版車ユーザーは数多い。

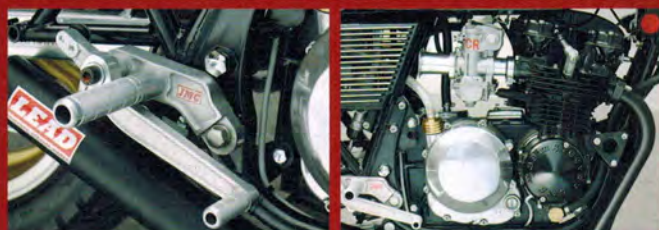
また摩耗しやすい樹脂部品や割れやすいアルミ、パーツなど、長く乗り続けるにあたって純正パーツにウィークポイントがあれば、それらを改善した上でパーツ開発を行っているのも特徴だ。そうした情報は一朝一夕に得られるものではなく、長年に渡ってパーツ販売を行ってきたBRCならではのノウハウがある。補修系部品と同様に力を入れているのが、1970年代を中心とした当時のカスタムパーツのリリースである。市販



カスタムマシンやディスプレイされたパーツには1970年代の当時モノも多い。これらは渡辺代表の趣味を色濃く反映しているものの、BRCがこうした車両製作を行っているわけではない。400ccクラスの絶版車をセンス良くカスタムするお手本のようなものだ。



すでに紛失していたり、付いていてもカチカチでボロボロになっていることも多いゴムパーツや、機種固有の弱点を改良したBRCオリジナルパーツ。絶版車を美しく、快調に走らせたいユーザーにとって同社のパーツが役立つシーンは多い。



JMC製バックステップやクランクケースカバー、BEET製キャストホイールを装着した走り屋仕様のZ400FX。LEAD製の集合マフラーとセパリッドジグリングシートの組み合わせで1970年代カフェレーサーのムード全開。

全身にモリワキカラーをまとったCB40フォアのカフェカスタム。セプンスターホイールはBRCプロデュースによる複製品。この車両は当時モノのデッドストックパーツをふんだんに用いた同社のデモ車両である。